

ロシア語

科目責任者 竹内高明
学年・学期 1学年・通年

I. 前文

ロシア語は、ヨーロッパとアジアの境界をなす隣国ロシアの公用語として、同国内の多くの民族に使用されているばかりでなく、旧ソ連圏の広大な領域において現在も広く用いられている言語であり、東欧諸国の数々のスラヴ語への入口ともなり得る。豊かで多様なロシア語文学・ロシア語圏文化（音楽・舞踊・映画等）に親しむ手がかりを与え、また近年急速に発展しているロシア語圏諸国との交流にも欠かせない。一見煩雑に見えるロシア語の文法も、ひとたびロシア語文化とロシア人の奥深い魅力を知れば、挑戦の意欲をそそられるものとなるだろう。この講義ではその入門として、簡単な会話を楽しみ、辞書を引いて平易な文章を読める能力の獲得を目指す。

II. 担当教員

竹内高明（基本医学）

III. 一般学習目標

ロシア語文法の基礎を学ぶとともに、ロシア語圏の文化に触れ、ロシア語を通じての情報入手やコミュニケーションの能力を培う。

IV. 学修の到達目標

1. ロシア語の正しい発音を習得する。
2. 基本的な語彙と文法を身につけ、簡単な挨拶や日常会話ができる。
3. 辞書を用い、自分でロシア語の平易な文章が読める。

V. 授業計画及び方法 * ()内はアクティブラーニングの番号と種類

(1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2：ディスカッション、ディベート 3：グループワーク 4：実習、フィールドワーク 5：プレゼンテーション

6：その他)

回数	月	日	曜日	時限	講義テーマ	担当者	アクティブラーニング
1	4	13	水	5	アルファベット（キリル文字）と発音 ①	竹内高明	1, 3
2		13	水	6	アルファベット（キリル文字）と発音 ②	竹内高明	3
3		20	水	3	第1課「知り合う」①：挨拶・これは～です	竹内高明	1, 3
4		27	水	3	第1課「知り合う」②：人称代名詞	竹内高明	1, 3
5	5	11	水	3	第1課「知り合う」③：否定文と疑問文・名詞の性	竹内高明	1, 3
6		18	水	3	第2課「私の世界」①：名詞の複数形・形容詞の性数変化	竹内高明	1, 3
7		25	水	3	第2課「私の世界」②：指示代名詞と所有代名詞	竹内高明	1, 3
8		25	水	4	第2課「私の世界」③：動詞の人称変化と対格	竹内高明	3
9	6	1	水	3	第3課「職業」①：時間と場所の副詞・動詞の過去形	竹内高明	1, 3

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
10	6	8	水	3	第3課「職業」②：前置格と場所の表現	竹内高明	1, 3
11		15	水	3	第3課「職業」③：不規則動詞の人称変化・с я動詞	竹内高明	1, 3
12		22	水	2	1学期のまとめ①	竹内高明	1, 3
13		22	水	3	1学期のまとめ②	竹内高明	3
14	8	24	水	3	第4課「趣味」①：生格と所有の表現	竹内高明	1, 3
15		24	水	4	第4課「趣味」②：名詞の複数生格・複数対格	竹内高明	3
16		31	水	3	第4課「趣味」③：不完了体動詞と完了体動詞	竹内高明	1, 3
17	9	7	水	3	第5課「私の一日」①：不完了体動詞の未来形	竹内高明	1, 3
18		14	水	3	第5課「私の一日」②：造格とその用法	竹内高明	1, 3
19		28	水	3	第5課「私の一日」③：完了体動詞の未来形・与格・時刻の表現	竹内高明	1, 3
20	10	5	水	2	第6課「買い物」①：移動の動詞，定動詞と不定動詞	竹内高明	1, 3
21		5	水	3	第6課「買い物」②：移動の方向と手段の表現	竹内高明	3
22		12	水	3	第6課「買い物」③：接頭辞を持つ移動の動詞	竹内高明	1, 3
23		19	水	2	2学期のまとめ①	竹内高明	1, 3
24		19	水	3	2学期のまとめ②	竹内高明	3
25	11	9	水	3	第7課「旅行」①：無人称述語Ⅰ	竹内高明	1, 3
26		16	水	3	第7課「旅行」②：好みと勧誘の表現	竹内高明	1, 3
27		16	水	5	第7課「旅行」③：可能と義務の表現	竹内高明	3
28		30	水	4	第7課「旅行」④：無人称述語Ⅱ・命令形	竹内高明	1, 3
29		30	水	5	第8課「私の夢」①：比較級	竹内高明	3
30	12	7	水	3	第8課「私の夢」②：不定人称文と関係代名詞	竹内高明	1, 3
31		14	水	3	第8課「私の夢」③：最上級と仮定法	竹内高明	1, 3
32	1	4	水	3	第8課「私の夢」④：年齢と年月日の表現	竹内高明	1, 3
33		11	水	3	総合的会話練習	竹内高明	1, 3
34		18	水	2	3学期のまとめ①	竹内高明	1, 3
35		18	水	3	3学期のまとめ②	竹内高明	3

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

成績の評価は、各授業時に行う確認テスト（20%）、学期末に行う口頭試験（20%）及び筆記試験（50%）、課題提出等（10%。予習・復習の状況、出席や授業中の態度も考慮する）を基に行う。

確認テストは、事前に配信される予習動画の内容から出題する。

VII. 教科書等

『ロシア語の世界へ！ 初心者の旅』青島陽子、シュラトフ・ヤロスラブ、中野悠希著（朝日出版社）を教科書として用い、各授業時に練習問題・画像資料などのプリントを配布する。機会に応じて視聴覚教材も使用。

VIII. 質問への対応

授業中に随時受け付ける。語学・人文教育部門室（基礎棟3階）でも別途対応可能。

部門室での質問の場合は、あらかじめ連絡しておくこと。

竹内連絡先：t-take@dokkyomed.ac.jp

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題・確認テスト・試験については，授業中，またLMSを通じて全体・個別にフィードバックを行い，誤っていた点について復習を行う。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊参照。

各回の予習動画を必ず視聴した上で授業に出席すること。また授業での学びの内容を復習し，知識の定着を図ること。

XII. コアカリ記号・番号

A 7-2), B 4-1)